

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】平成24年8月16日(2012.8.16)

【公表番号】特表2011-528314(P2011-528314A)

【公表日】平成23年11月17日(2011.11.17)

【年通号数】公開・登録公報2011-046

【出願番号】特願2011-518798(P2011-518798)

【国際特許分類】

C 0 1 C 1/18 (2006.01)

C 0 5 C 1/02 (2006.01)

C 0 5 C 13/00 (2006.01)

【F I】

C 0 1 C 1/18 B

C 0 5 C 1/02

C 0 5 C 13/00

【手続補正書】

【提出日】平成24年7月2日(2012.7.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) 約1mmよりも大きい平均粒径を有する硝酸アンモニウムと約1000μm以下の平均粒径を有する実質的に非酸化性の化合物を混合すること、及び

(b) 該非酸化性化合物の存在下で該硝酸アンモニウムの平均粒度を下げて、約1μmから約1000μmの平均粒径を有する硝酸アンモニウムと非酸化性化合物の実質的に均質な混合物を生成し、実質的に非爆発性の粉体を形成すること、を含む、安定な硝酸アンモニウム複合材料の形成方法。

【請求項2】

約1μmから約1000μmの平均粒径を有する固体状硝酸アンモニウムと約1μmから約1000μmの平均粒径を有する非酸化性粒状物質の実質的に均質な混合物を含む非爆発性組成物。

【請求項3】

(a) 約1mmよりも大きい平均粒径を有する硝酸アンモニウム粒子の平均粒径を下げるのこと、及び

(b) 該硝酸アンモニウムを約1,000μm以下の平均粒径を有する実質的に非酸化性の化合物と混ぜて、約1μmから約1,000μmの平均粒径を有する実質的に均質な硝酸アンモニウムと非酸化性化合物の混合物を生成し、実質的に非爆発性の粉体を形成すること、

を含む、安定な硝酸アンモニウム複合材料を形成する方法。